

資料（ ■ 経営会議 □ 調整会議 ）

開催日：平成 21 年 5 月 18 日（月）

担当課：文化スポーツ部 国際・男女共同参画課

件 名：海外友好都市の提携について	
提出理由：大韓民国京畿道（キョンギド）光明（クアンミョン）市との友好都市の提携を締結したいため	
内 容： 1 海外友好都市提携の目的 ・教育、文化・スポーツ、経済、産業など幅広い分野で交流を図ることにより、市民相互の理解と友好を深め、国際社会の平和と発展に貢献するとともに、幅広い分野での市民交流の広がりを期待する。 ・グローバル化、国際化の進展の中で、総合計画に示された多文化共生社会を目指すため、市民の国際意識の更なる向上を図る。 ・市制 50 周年を機に都市間交流を充実していく。 2 提携の相手方 大韓民国京畿道 光明市 3 光明市の概要 ・人口：約 31 万人 ・世帯：約 11 万 5,000 世帯 ・面積：38.5 平方キロメートル ・ソウル特別市の南西に隣接するソウル近郊のベッドタウンのひとつ ・ソウル市街地及び金浦空港から車で約 40 分の位置 4 提携の相手を光明市とする理由 光明市は本市との友好都市提携を希望している。 光明市は平成 20 年 7 月に健康都市宣言を行い、本市も加盟している健康都市連合の会員である。	光明市は最高水準の教育都市を目指していることから、教育分野において課題解決のための交流が期待できる。 隣国で距離が近く、欧米と比較して渡航費の負担が少ないため、市民レベルでの活発な交流が期待できる。 光明市のある京畿道は神奈川県と友好提携を締結（平成 2 年 4 月 24 日）している。 ソウル特別市に隣接するベッドタウンとして発展した都市であり、都市形態が本市と類似している。 5 民間交流の実績 ・神奈川県央日韓親善協会が光明韓日文化交流会との交流を続けている。 ・県立大和西高校が、光明市光文高校と姉妹校締結を行っている。（平成 20 年 12 月） 6 友好都市提携後の交流について ・市民間の相互交流（市民が相互に訪問しあうツアーの実施支援等） ・児童生徒等の交流（青少年の派遣事業等） ・相互の伝統文化や特産物、産業などを市民に紹介するなど、幅広い交流の展開
経 過 H 6. 6 市議会第 2 回定例会で「大和市と韓国との姉妹都市づくりの請願書」を採択 H19.12、H20. 3 平成 19 年市議会第 4 回定例会及び平成 20 年市議会第 1 回定例会一般質問で菊地議員が韓国の都市との友好都市の提携を質問 H20. 5 光明市副市長が大和市長を表敬訪問 H21. 1 光明市光文高校生徒が大和市長を表敬訪問	今後の予定 H21. 5 副市長現地調査のため光明市訪問 H21. 5 大和市議会説明 H21. 7 光明市市議会上程 H21.10 大和市長が光明市にて、覚書調印 H21.11 光明市長が本市に来市し、友好都市提携の盟約書調印

